



愛をみんなで

大仁更生保護女性会 会長 白根 三代子

目にもあざやかな新緑に包まれ、時折「ケキヨ ケキヨ ケキヨ」の伴奏に合わせ、ホーホケキヨと、うぐいすの美しい歌声が聞こえてくる。周りの田んぼにもさなえが青々とし、ほんとうに美しい。のどかなあ。こんな落ち着きと感動があればこそ、人々を愛せる心が育まれるのではないだろうか。今朝も六時三十分から八時十分まで防犯ボランティアのみんなとあいさつ運動を行った。会員の一人が「ねー、このあたりの緑、ほんにきれいだね。」と、「うん、ほんに心が洗われるね。」と。笑顔の会話に心が打たれる。

安全で安心して暮らすことのできる社会。それは、すべての人々の願いです。この願いに寄与しようと、大仁更生保護女性会は、昭和三十四年から活動に参加させていただいています。先輩会員の皆様の尊い歩み、そして地域の皆様の温かいご理解とご支援ご協力により、「愛の図書」募金活動や各地区での諸活動に積極的に参加させていただいています。

す。これからも更生保護ボランティアの皆様と協力し合い、活動を進めたいと思っています。そのためには、多くの女性の方に会員になっていただきたい。女性の皆様、大歓迎です。待っています。

大仁更生保護女性会は五町(横田・仁多・木次・加茂・大東)九十四名で取り組んでいます。今年度は特に、会員の意識を高め、絆を深め、より豊かな実践活動に生かしたいと考え、人は誰でも幸せを、求め探して旅をするとの歌い出しで始まる「愛をみんなで」を歌っています。

表紙の写真

「龍頭が滝」

中国随一の名瀑として「日本の滝百選」に選ばれ、四十メートルの高さから流れ落ちる水は、まさに昇天していく龍のようでもあります。また岩窟から「裏見の滝」も眺められます。

第65回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

の推進に当たってのお願い

“社会を明るくする運動”は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

安全で安心な国づくりは、我が国の経済成長や女性・若者が輝く社会の基盤であり、地方創生の礎となるものです。そして、我が国に、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を控え、「世界一安全な国、日本」をつくり上げなければなりません。それを実現するためには、犯罪の約6割を占める再犯を防止するための対策が喫緊の課題であり、あやまちから立ち直ろうとする人たちが地域の中で適切な「仕事」と「居場所」を確保し、社会復帰することができるよう支援することが重要です。

政府においては、昨年12月、再犯防止に関する宣言「犯罪に戻らない・戻さない」を決定し、この問題に正面から取り組んでいくこととしました。国民の皆様には、再犯防止及び“社会を明るくする運動”の社会的意義を御理解いただき、犯罪のない幸福な社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福(しあわせ)の黄色い羽根」のもと、様々な分野から多くの方々の参加をいただきますよう御協力をお願いします。

平成27年 7月 1日

内閣総理大臣

安倍晋三

危険ドラッグは ダメ。ゼッタイ。



1回だけなら大丈夫かも…。

ちょっとした好奇心や軽い気持ちで、
あなたやあなたの家族の人生を台無しにします！
危険ドラッグは絶対ダメ！

危険ドラッグって何？

合法ドラッグや合法ハーブ、お香、アロマ、バスソルトなどと称して、多幸感や快感を高めたり、幻覚作用等を得ることを目的として販売されている製品をいいます。これらには大麻や覚醒剤などの麻薬よりも危険な物質が含まれていることも多く、販売者ですら何が入っているのかわかっていない危険な薬物です。



危険ドラッグを使用するとどうなるの？

意識障害、嘔吐、けいれん、呼吸困難を起こしたり、死亡することもあるため、大変危険です。突然、錯乱状態となって異常行動を起こすこともあり、他人を巻き込んだ交通事故や殺傷事件が全国で多発しています。

また、危険ドラッグを使用すると自分自身をコントロールすることができなくなり、どうしても止められない状態となります。

平成26年4月から、指定薬物については、所持、使用、購入等も禁止されています。
違反した場合、3年以下の懲役、もしくは300万円以下の罰金、又はどちらも科されます。

危険ドラッグは買わない・使わない・かかわらない

このことについてのお問い合わせは雲南更生保護サポートセンターへお願いします。
〒690-2404 島根県雲南市三刀屋町三刀屋199番地 TEL・FAX 0854-45-5850 E-mail: un-hogos@bs.kkm.ne.jp

薬物乱用防止活動

横田小学校薬物乱用防止教室の指導講師

保護司会及び社会を明るくする運動推進活動の重要な役割として薬物乱用防止活動を重点項目として取組んでいます。

小、中、高校生を対象とした薬物乱用防止教育にも積極的に参画して啓蒙活動に力点を置いていきますので、ご相談戴きますようお願い申し上げます。

平成二十六年度の活動の一端をご紹介します。奥出雲町立横田小学校、雲南市立掛合中学校、島根県立三刀屋高校掛合分校からのお礼状、感想文を掲載させていただきます。



横田小学校 授業風景

残寒の候、貴台にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に対しまして格別のご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、先週開催しました横田小学校薬物乱用防止教室につきまして、三木様には講師としてご指導をいただき、誠にありがとうございますました。

お陰をもちまして学びの深い薬物乱用防止教室となりました。特に薬物の怖さについて丁寧に教えていただき、子どもたちもその怖さを実感できたようでございます。また、事前に資料を準備していただき具体的に教えていただきまして子どもたちも意欲的に学習することができました。授業の最後に三木様のメッセージをいただきましたが、強い心をもちたいという子ども



横田小学校 授業風景

もたちの真剣な様子が伝わってきました。これも三木様のご指導の賜と厚くお礼申し上げます。

今後は、この薬物乱用防止教室で学んだことを学校や家庭での生活に生かして子どもの心と身体の健康づくりの一層の充実と推進に努めて参ります。

まずは書面をもってお礼いたします。

三刀屋高校掛合分校

生徒の感想文

●一度壊れた脳は元に戻らないこと、一回だけでも使用してはいけないことを初めて知りました。誘われても断る強さが必要だなと思いました。

話を聞くまでは、一回くらいなら大丈夫じゃないかと思ってたのですが、こんなに依存性が強いとは思いませんでした。改めて薬物の怖さを感じました。

乱用者の告白事例を聞いて思ったことは、二人とも誘われて使い始めたことです。周りの人の影響は強いなと感じました。知らない間に薬物に関わっていたら、とても怖いと思います。

●中学校の時にも薬物について話を聞きました。いつ話を聞いても薬物は怖いと思います。薬物で車の事故を起こすというニュースが増えたと思います。また、薬物で人生が変わった人がたくさんいます。僕が大人になっても薬物は使わない、使いたくないと思います。人生は大変なことがたくさんあると思ってるので、楽しく過ごしたいと思っています。また、将来の夢を実現したいと思っています。

●たった一回でも薬物を乱用したら依存性が強いので、また使いたくなって、やめたくてもやめられなくなるので絶対薬物を乱用したくないと思いました。薬物を勧められてもきっぱりと断ることが大事だと思いました。

薬物を使用したことで体も心もボロボロになるし、家族や自分に関わる人に迷惑をかけるので、薬物に手を出してもいいことは一つもないと思いました。

●薬物を乱用することで自分の体や心を壊して、さらに人生まで台無しにするものと分かりました。一度だけなら良いだろうと油断して使えば、薬物から抜け出せず、他人や自分を傷つけてしまい、効果が切れれば幻聴などの苦痛から逃れようと繰り返し、いずれ死に至る恐ろしいものだと思います。誘われたら断る勇気が必要だと思いました。

いつか薬物がなくなる日が来ればよいと思います。薬物の誘惑に打ち勝つよう気持ちを強くしていきたいです。

●いろいろな人からタバコはダメ、酒はダメと言われますが恐ろしさは十分わかっているわけではありません。薬物もそれと同じで聞いただけではすべてはわかりません。ですが、ここまでいろいろな人に言われると本当にやってはいけないと強く感じます。私は、危険なことに手を出す前に、こんなに注意してもらえるので本当に恵まれていると思います。

●薬物を使うと自分が変わってしまうことが嫌だし、家族や友達に迷惑をかけるから使いたくないと思いました。一回でも薬物に手を出してしまうと、自分ではやめられなくなるし、薬物の効果が切れるとイライラしたり、落ち着かなくなり、また薬物が欲しくなって自分の意思によるコントロールができなくなるから、とても危険だと思います。薬物をした人の字を見ると、小さい子が書くような字になり、影響しているんだなあと思いました。日本の社会をダメにしたくありません。

●薬物の危険性がわかりました。僕は、薬物には絶対手を出したくないと思いました。そんなことをして自分の人生もめちゃくちゃにするし、親にも迷惑をかけるからです。なぜ薬物に手を出すのか不思議に思います。人生をめちゃくちゃにしてまで、そんなことをするのは、とても薬物について考えさせられる授業でした。このような授業をこれからいろいろな



掛合中学校 授業風景

ところで、いろいろな人に教えて、薬物がいかに危ないかを知らせて欲しいです。

●僕は何度か薬物乱用防止についての話を聞いたことがありますが、少ししたら忘れるので話を聞くたびに勉強になります。最近、テレビなどで危険ドラッグのことについてニュースをみます。使用した人たちが車に乗り交通事故を起こし、亡くなっている人もいます。絶対に使用してはいけないと思います。

●今日は怖い話を聞きました。薬物が何のためであって、何に使うのがわからないのです。薬物についてもっと知りたいです。薬物の怖さは十分わかりました。自分も相手も過ちを犯さないように生きていきたいです。

●タバコも薬物と同じ依存性があり、薬物と同じようなものなので使用しないようにしたいです。薬物は姿や形、呼び名を変えて僕らの日常生活に悪影響を与えようとしてきますが、それに負けないように正しい知識、勧められても断る勇気を持ちたいと思います。

●薬物の恐ろしさを知りました。覚せい剤以外にも大麻やMDMAなどたくさん種類があり、呼び名もたくさんあることを知りました。MDMAはラムネのようにしか見えなくて驚きました。実際に薬物をした人の脳の画像や字を見て、薬物の怖さをもっとわかりました。

●DVDや音読でわかりやすかったです。薬物でとても怖いのは、一度壊れてしまった脳は戻らないということです。いろいろな障害が残り、とてもかわいそうだと思います。タバコもやめられなくなったり体によくないものがたくさんあると聞いたので、絶対吸わないようにしようと思いました。薬物経験者の手記はとても怖かったです。

●実際に薬物依存症になった人の文を音読してもらい、とても頭に残りました。薬物を使用しようと思ったことはないですが、頭のどこかで一回なら大丈夫そうと思っていた部分もあったので、改めて一回でも絶対ダメということがわかってよかったです。薬物をやめた後、何年経っても幻聴や幻覚があると聞き驚きました。

更生保護 あなたの善意が 事業の支え。

犯罪や非行は、非難されるべきものです。でも、犯罪や非行をした人を、白眼視しないで、更生のため必要な範囲で支え、助けることにより再犯を防止する、これが私たちの願いです。

編集後記

二月に神奈川県で悲しい事件が起きました。少年の変化やサインに気づいていれば事件は防げたかも知れないとの声が多く聞かれました。みなさまの温かい目と協力が犯罪を減らすことに繋がります。

(岡田)

	編集委員長	藤原静雄
	編集委員事務局長	石川 隆
//	編集委員	徳江良弘
楠	板垣秀和	山中洋美
京子		岡田礼子

更生保護法人 島根保護観察協会定款 (抜粋)

目的と事業

(目的)

第3条 この法人は、島根県内における更生保護に関する事業の充実発展に寄与するとともに、更生保護事業法第2条第2項各号に掲げる者に対し、その自立更生に必要な保護を行うことを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の連絡助成事業及び一時保護事業を営む。

- (1) 更生保護事業を営む者に対する連絡、調整又は助成
- (2) 保護司活動に対する連絡、調整又は助成
- (3) 更生保護に関する民間協力組織に対する連絡、調整又は助成
- (4) 犯罪予防を図るための世論の啓発その他の活動
- (5) 更生保護事業法第2条第2項各号に掲げる者に対する金品の給与
- (6) その他前条の目的を達成するために必要と認める事業

(会 員)

第40条 この法人に会員を置くことができる。

- 2 会員は、本会の目的に賛同する個人又は団体をもって構成し、理事長の承認を得る。
- 3 会員は、これを分けて次の5種とする。

普通会員	年額1,000円以上を拠出する者
協力会員	年額3,000円以上を拠出する者
賛助会員	年額5,000円以上を拠出する者
特別会員	年額1万円以上を拠出する者
名誉会員	年額10万円以上を拠出する者
- 4 会員は、毎年度、事業計画、収支予算、事業成績、決算その他重要事項の報告を受ける。

※この主旨に基づいて保護司がご家庭を伺いました際には、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。